

岡本黃石 （たけもと きんせき） 漢詩人。文化八年十一月、二十一日近江國生乳、明治

二十一年四月十一日歿（二六二―九六）。舊姓宇津木、諱官通、字主司南、

通稱留彌、織部之介、半介（助）、岡本進。別號圮橋、黃石齋叟、黃石

老逸。嘉永五年考根藩家老職に就く。井伊首領横死後は勤皇に傾じ、

戊辰戦には官軍として出兵。詩は梁川星巖、荻池五山に學び、明治十

三年彌坊吟社を興す。

著書 「岡本雷笑餘聲」 附 「糸屋餘光」 （横田香苗） 「佐成源五郎編」、明治二十五年

十一月、二十一日博文館「寸珍百種」等。